

新型コロナウイルスがまだまだ終息せず、厳しい状況が続いておりますが、「こどもたちの貴重な体験の場を減らしたくない！」という職員一同の想いから、今年度も感染対策を行ったうえで清水こども園でのお泊まり保育を実施しました。年長児の保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

今年度は年長児自らお祭りごっこを計画しました。

まずは何のお店を出そうかと相談。

『スーパーボールすくい、的当て、輪投げ、りんごあめ、チョコバナナ、魚釣り、金魚すくい、かき氷屋さん』これらの模擬店で売る品物を何日も前から手作りし準備をしてきました。

当日はお店屋さんとお客さんになって、ねむのきホールで模擬店ごっこを楽しみました。

みんな商売上手で、「いらっしゃいませ〜」「おいしいかき氷はいかがですか」と自分の役割を責任持ってしっかりとこなしていました。

次に園庭に場所を移して、お祭りごっこ第二弾！食べ物の模擬店を楽しみました。焼きそば、たこ焼き、ウインナー、ジュース。みんなで外で食べる食事はとてもおいしかったようです。

その後花火鑑賞。近くで迫力がある花火はとてもきれいで、大きな歓声が上がりました。

初めてご家族から離れてお泊まりを経験するお子さんもいらっしゃったと思います。寂しい気持ちを我慢して頑張って一晩過ごしたお子さんもいたかもしれません。「お父さん、お母さんから離れて一晩泊まれた」という経験は、今後の自信につながったことでしょう。

翌朝お迎えに来た時、思わず目を潤ませたのは大人の方。「頑張ったね」と抱き合う姿は、とても印象的でした。

こどもたちから「またお泊まり保育したいな」という声をたくさん聞いたことも大変嬉しく思います。

コロナ禍で我慢しなければいけないこともたくさんありますが、これからも私たちは、園生活の中で安全を第一に考え、その中でどんな楽しみが生み出せるかを模索し、実践していきます。



赤棟リーダーのひとりごと『室内遊び』

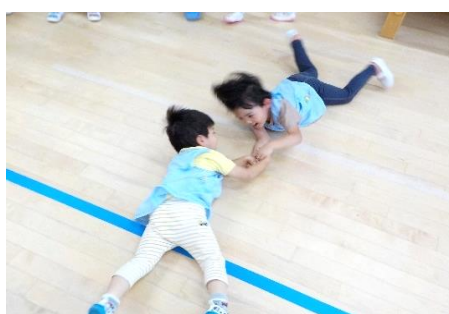
梅雨明け前、雨が降り続いて外で遊べない日の出来事です。

「きょうも、おそとにでられないねえ」という声が子どもたちから聞こえてきたので、お部屋の中で体を動かして遊んでみよう、保育室の中にテープで線を2本引いてみることにしました。

準備中には（何やってるの？）（何が始まるんだろう？）という子どもたちからのワクワク感が伝わってきましたよ。



くまさん歩き



お友達とくるくる



片足ケンケン

床に線を引いてみたり、音楽を流してみたり、いろいろな体の動きに挑戦しました。

いつもと違うちょっとした工夫で、子ども達の気分やテンションもあがり楽しい時間を過ごすことができました。

縦割りで生活していると、2歳のお友達が4歳のお友達の様子を見て、真似して遊ぶことができます。

身近なところにお手本があると、「お兄ちゃん、お姉ちゃんみたいにやってみよう」「大きくなったらこんなことができるんだ」と

自然に思えるようになります。年上のお友達が憧れの存在になっていくんですね。





